

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名	専門試験（ 中国文化論 ）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では現代中国語の読解力および日本語の表現力を、「問題三」では広義の古漢語の読解力をはかることを意図している。</p>

2026 年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

『孝經』

諸子百家

『易』傳

『別録』『七略』

清談

邵康節

王守仁

吉田松陰

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

易喜者必易厭。有書於此、一讀而使人喜者、屢讀必厭。有樂於此、一奏而使人喜者、屢奏必厭。蓋是書是樂之味、盡發於一讀一奏之間、外雖可喜、而中既無餘矣。其初之喜、乃所以爲終之厭也。善著書者、藏其趣於無趣之中、非欲掩人之目也。得趣於無趣、則其趣無時而窮也。善作樂者、藏其聲於無聲之中、非欲塞人之耳也。得聲於無聲、則其聲無時而窮也。至書無悅人之淺效、而有化人之深功。至樂無娛人之近音、而有感人之餘韻。凡天下之理、不能窺於未得味之前、必不能捨於既得味之後也。昔吾夫子設教於洙泗之間、子貢初見、挾其智而傲之、子路初見、挾其勇而陵之。夫以夫子之聖、猶不能動物悟人於一日之速也。

問題三 次の文章をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

詹鄞鑫『神靈与祭祀』（江蘇古籍出版社、1992年）「緒論」、24頁

〔選択B〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次のの中から四項目を選び説明せよ。

- (1) 李汝珍
- (2) 李賀
- (3) 楊顯惠
- (4) 「元白」
- (5) 華語語系文学
- (6) 通韻
- (7) 十三韻
- (8) 『文鏡秘府論』

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

馬孟晶『耳目之玩：晚明図譜与文学挿図版画』（浙江大学出版社、2024年）96頁

問題三 次の文をすべて書き下し文と日本語訳にせよ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

唐・范攄撰『雲溪友議』（民国嘉業堂本）卷上、2 葉 a～2 葉 b。